

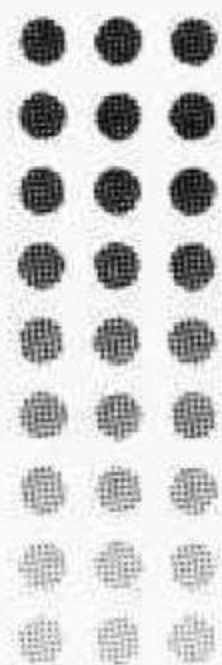


18 For ADULT ONLY

Angel'in Heavy

エンジェリン・ヘヴィ・シロップ

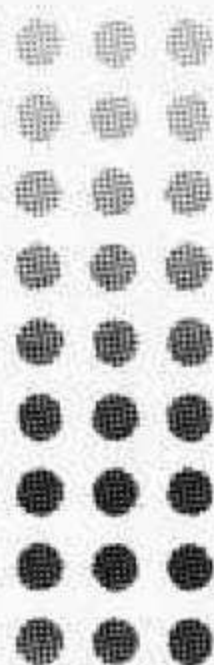
Syrup



A ngelin' H eavy

エンジェリン・ヘヴィ・シロップ

NAIKI HODZMI 2001



甘くて重い蜜のうみ

堕ちてしまったひとりの天使

蜜は重く羽根に絡みつき

希望の翼を天使から奪った

奈落の泉に沈んでゆく天使

深く 深く





この冬最初の
本格的な
冷え込みでー

その日は



もう一度
二人で最初から
やり直そう

僕たちなら
きっと出来る



直也さん…



どうして
ダメなんだ？
恋愛



ごめんなさい、私——

あいつか？



どうして君は
あの男を
許せるんだ

どうして——

君をあんな
酷い目に遭わせた
男なのに



さよなら



一生ベッドの上で
暮らす男に
君の人生を――

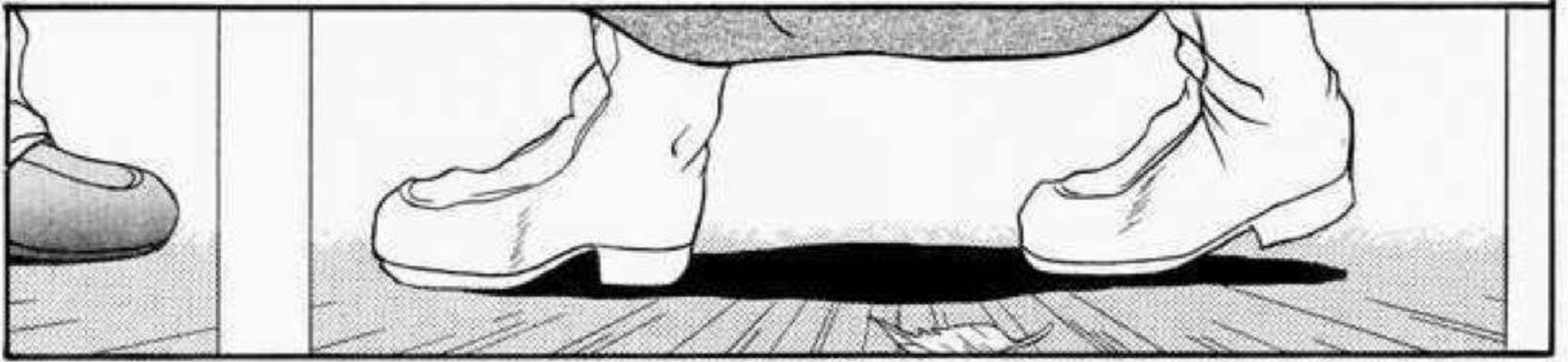
警察にも追われて
いるんだらう？



――ごめんなさい
直也さん



恋、どうして…



「恋、もう一度
やりなおそう」

「恋、どうして
ダメなんだ」



—優しい人



あの人はどんな
私であつても

許し受け入れて
くれるのだろう



あの男ひとによって露わにされた





先週旦那が
カナダに出張
行ってね

コレ
おみやげ



あ、そうだ
これ



でも——

積もって欲しい
けどな



嬉しいな、
ありがとう
ございます

わあ、本場の
メイプルシロップ

どーせ安物
だろうけどね

ウキのひとりのことだから



パンケーキでも
焼こうかな







甘いですね、
シロップ

.....

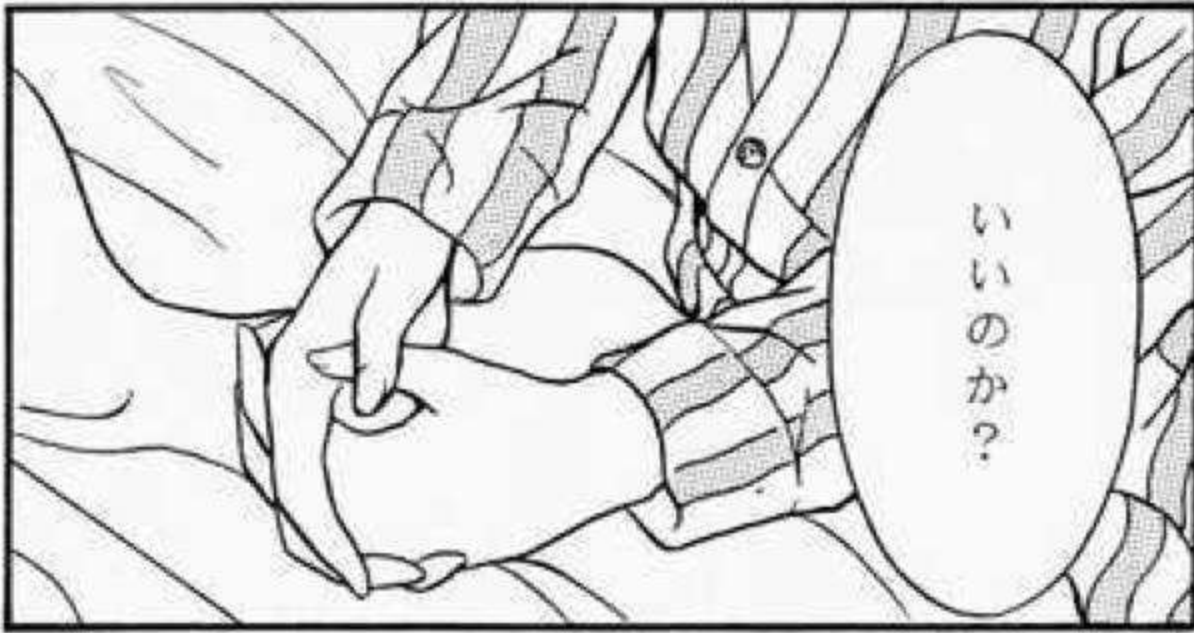


お口に
合わなかった
ですか？



直也君と
違っていたのか？





いいのか？



たぶん

もう二度と…



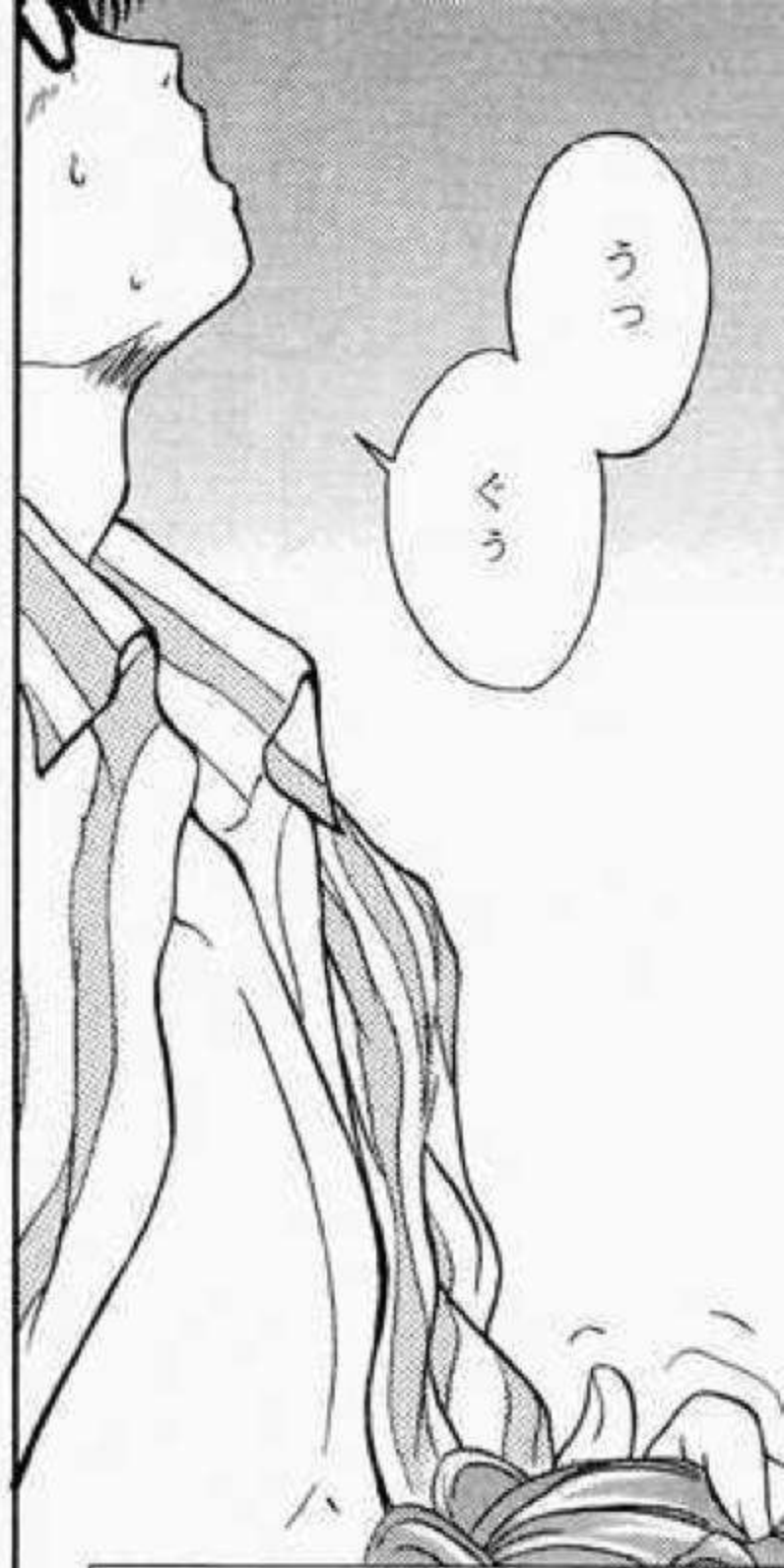
本当に
いいのか？

それで…



—はい





欲望のままに私を散々に弄び



—最低な男

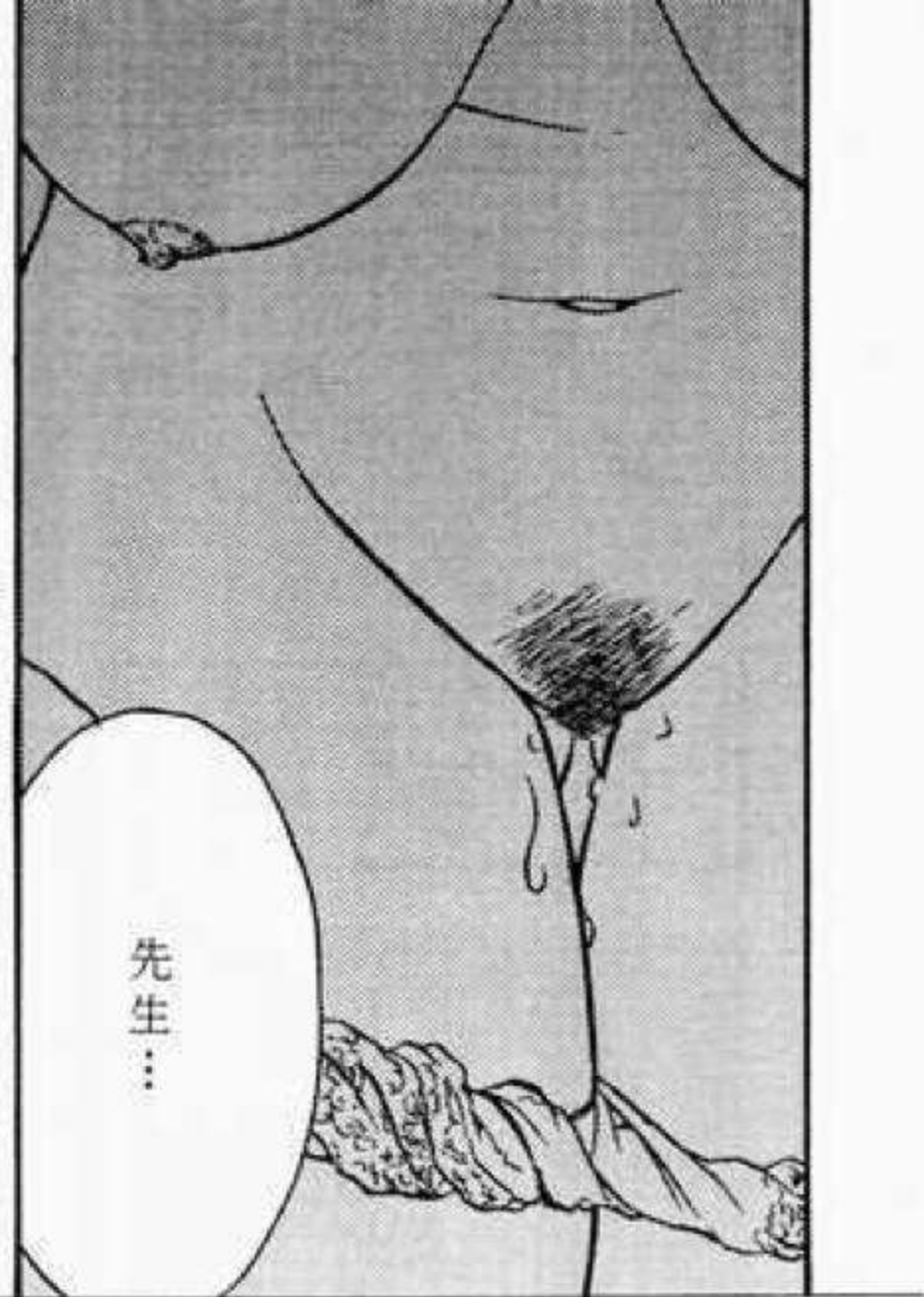
その果てに 勝手に自滅した





今度は
私の方も――

でも――



先生……

本当に最低の――



あ、



最低なのは私も同じ



お嫌いじゃ
ないでしょうか？

くす



はしたない
女だ

快樂に抗えず 恋人を裏切り



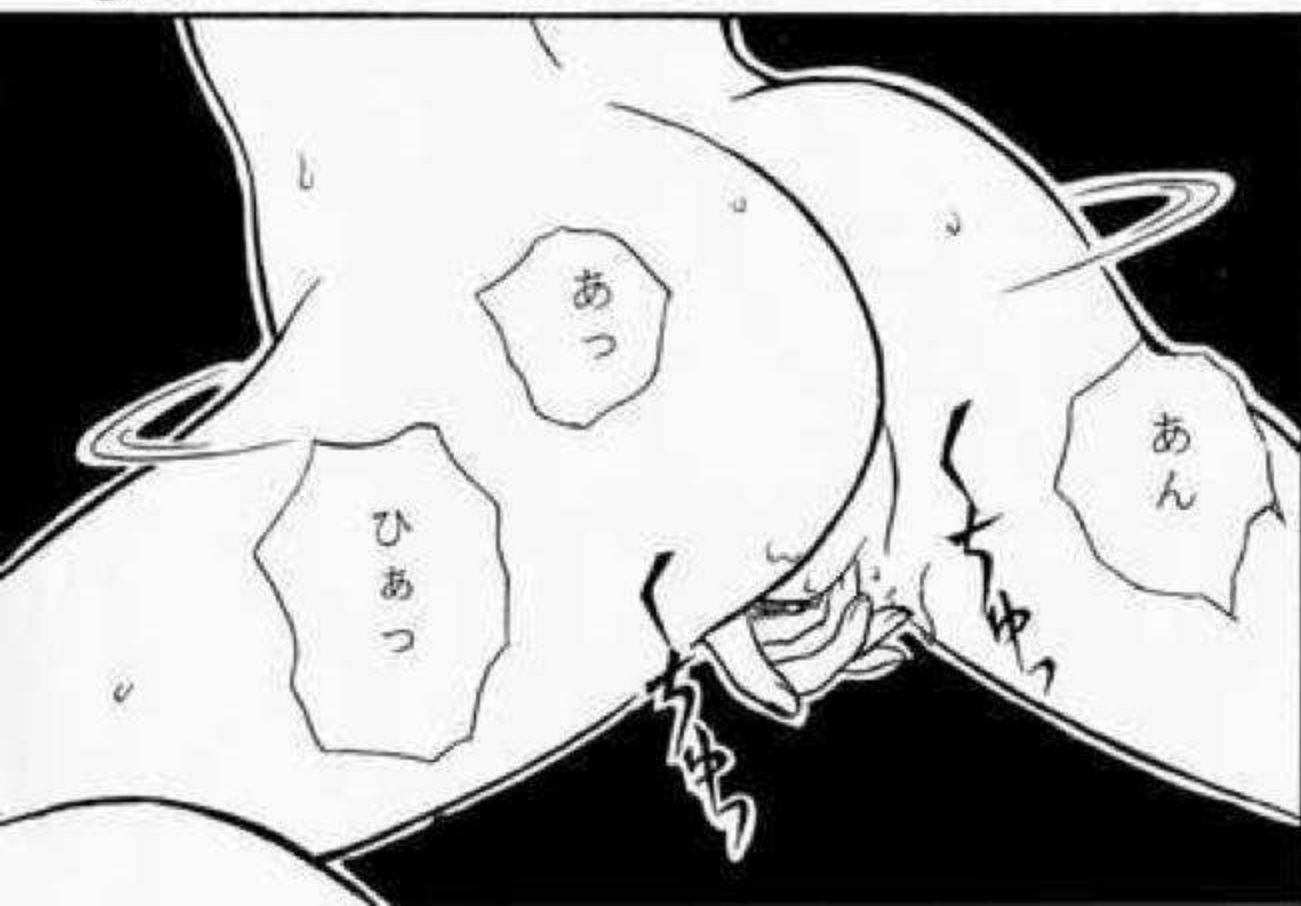
時には汚される悦びすら覚えた



でも、あの人は多分受け入れることはできないだろう

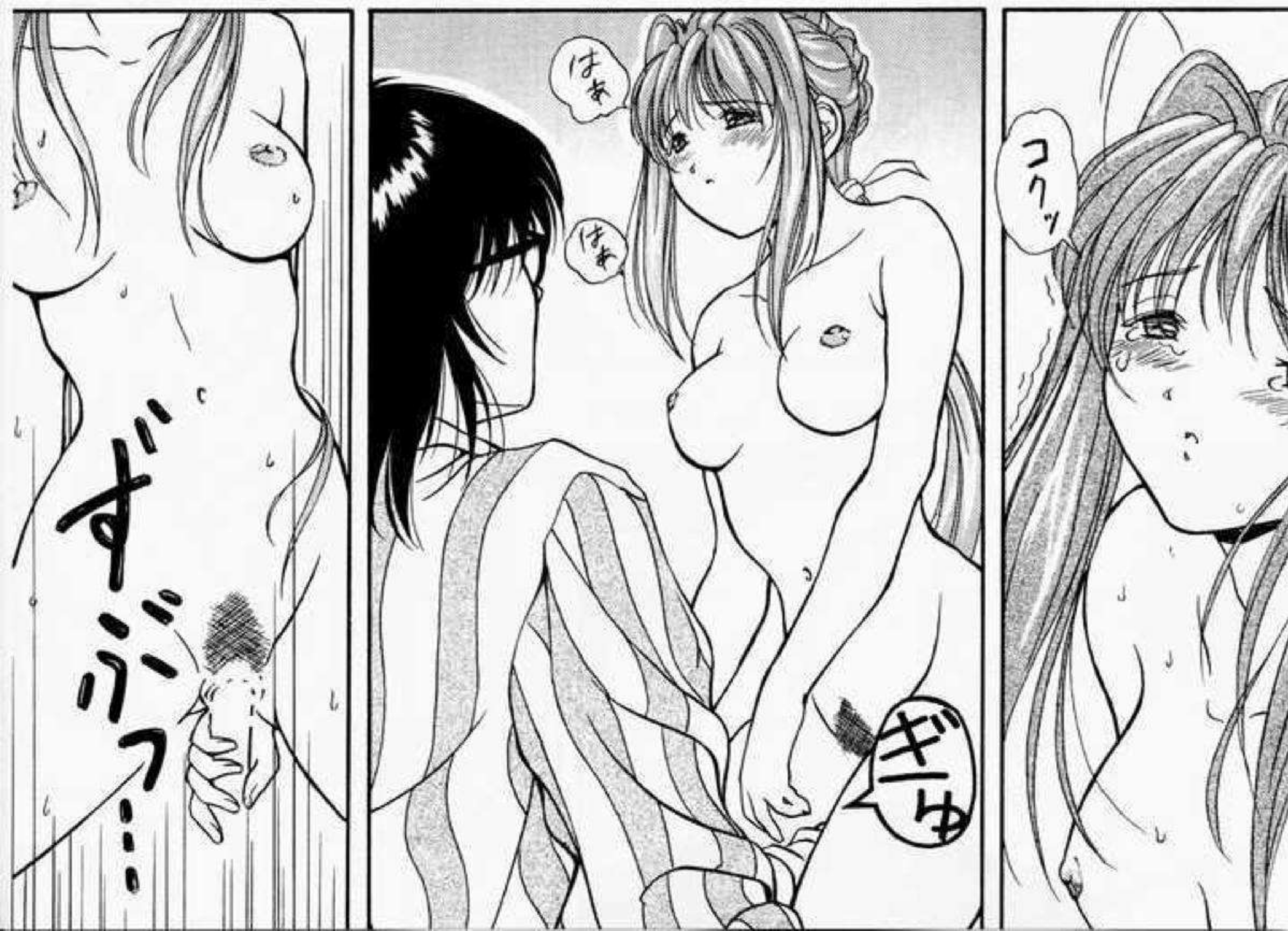


こんなもう一人の「私」の存在を





本当に最低な人 でもこの人は受け入れることができる





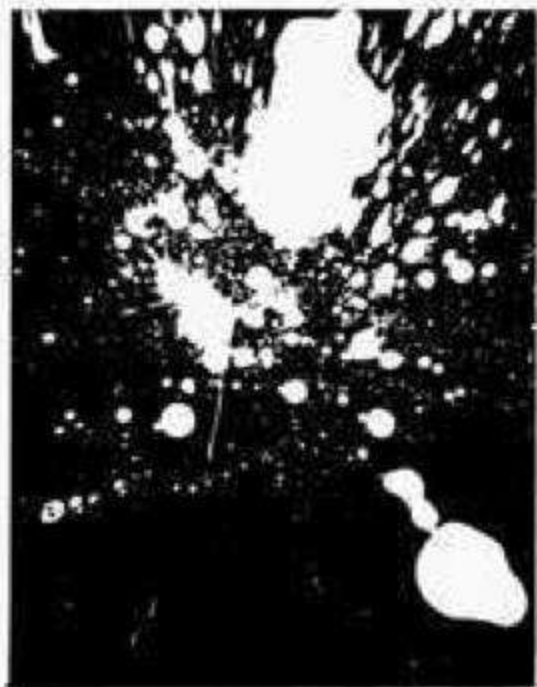
優しくしたりはしない でも 忌避することもない



看護婦の時の私も ベッドの上にいる私も

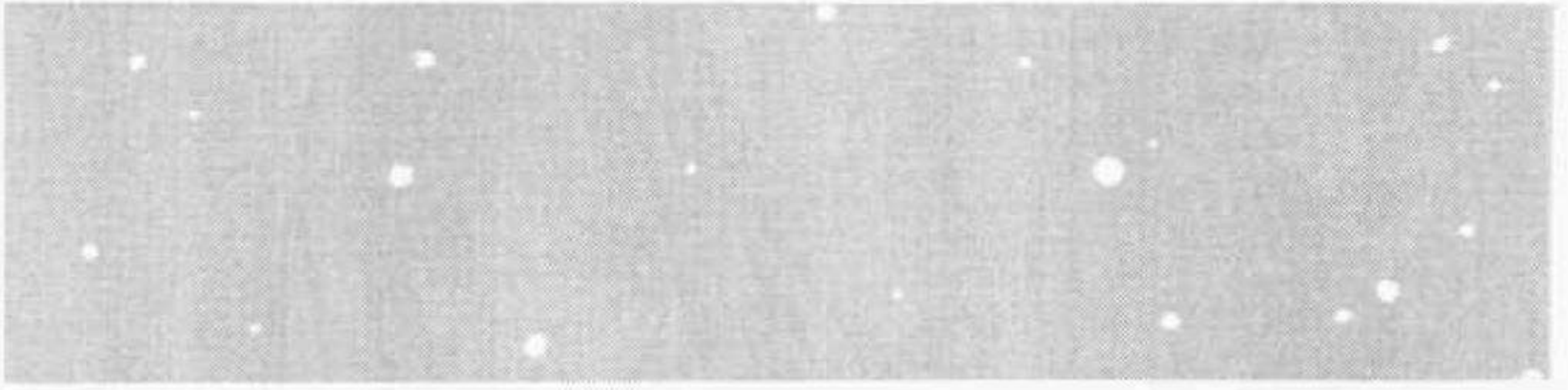


どちらも自然の存在として —



だから 私はこの人の側に居ようと決めた









雪、積もり
そうですね

甘くて重い蜜のうみ

堕ちてしまったひとりの天使

蜜は翼を奪ったけれど

甘く優しく天使を溶かす

甘くて優しい蜜のうみ

天使の心を溶かしてゆく

—
ああ

発売前はそんなに気になるゲームでもなかったんですよ。ギャルゲーには珍しいパステル系の配色とエプロン付きナース服がいいなあ、って。その程度で。

最初にクリアしたのが恋のエンディングでした。自滅して成美さんに殺されかけた比良坂を助ける恋。あんなに酷い目に遭わされた男なのに、「看護婦の勤めだから」と。恋は恋人の直也ではなく比良坂と共に生きていく決心をします。まだ20代前半、その気になれば可能性に満ちた未来をいくらでも拓けるというのに。一生をベッドの上で暮らす、警察からも追われる日陰者を支えていくという人生を彼女は自ら選択するのです。目立たぬようひっそりと、自分の人生を狂わせた男を介護していく人生。彼女のことだから、この先もずっとずっと、年老いても比良坂の面倒を見ていくんでしょ。おそらくは、どちらかが土に還る日まで…。

そう思ったらですね、もう涙腺がですね、言うこと聞かなくてホントに(赤面)。あまりに個人的ツボで、自分にとってはこのゲームのトゥルー・エンドになってしまいました。エンディングテーマ「TOKI WO KAESITE」は、自分にとっては恋のテーマです(笑。でも恋エンディングが一番しっくりくる歌詞だと思う…)。

このマンガは恋エンディングの後日談、正確には恋が比良坂を救ってからラストカットに至るまでの間に入るエピソードとして描きました。恋エンディングで恋が直也と別れたらしいことが比良坂の口から語られているので、その辺りの話だと思っていたら、と。

恋が最後に比良坂を選んだことには納得できない人もいると思うのですが、個人的には直也では恋を支えることは出来ないような気が。恋は比良坂によって「あっち側」に連れて行かれちゃって、自分自身にも「あっち側」の属性があることを自覚していると思うのです。でも直也は「こっち側」の人間で、彼が好きなのは「こっち側」の恋。「あっち側」の恋を見て見ぬ振りすることは出来るだろうけど、理解出来るかというところ…難しいだろうな、と。比良坂ってどーしようもないヤツですが、あっち側の人間だろうとこっち側の人間だろうと平等にキチクする(笑)人ですから。比良坂君も、恋に対しては恋愛感情に近いものを抱いていたんじゃないでしょうか。ゲーム中1回だけ、比良坂が恋に自分を受け入れてくれるよう哀願しているように聞こえる台詞があって、ゲーム全編を通してたった一度だけ、恋だけに弱さを晒した瞬間というか…。そう考えると、恋と比良坂がくっついたことも自分としては消化できるかな、と。

「比良坂ってこんないいヤツじゃねえだろ?!」「キャラが全然似てないんだよコラァ!」というご批判はごもっともですが、今回は僕のドリームを貫徹しましたすみません。ヒキ材リヤガッ3、コイワ…

以上、「何を言っているのかさっぱりわからない」という方、このマンガは「夜勤病棟」という、少なくともパロディ同人誌の世界ではかなりマイナーなギャルゲーを元ネタにしているのです。しかも通称「恋エンディング」と呼ばれるエンディングの内容を知っていることが前提でして、すいません解らなくて当然なんです。

タイトルは大阪のインディーズ・ミュージックシーンでその名を知られた女性4人組ユニットの名前から拝借しました。

それではまたいずれ。そろそろ創作マンガ描きたいです。

● お く づ け ●

ほづみないき個人誌 vol.たぶん17くらい
エンジェリン・ヘヴィ・シロップ

● 著者：ほづみないき ●

● 発行：高層化石庭園 ●

ZIP193-0823

東京都八王子市横川町731-328

E-mail:nhodzmi@venus.dti.ne.jp

Webpage "Vertigo High"

<http://www.venus.dti.ne.jp/~nhodzmi/>

● 発行日：2001.6.24 ●

● 印刷：POPLS ●
さま



Angel'in Heavy Syrup

エンジェリン・ヘヴィ・シロップ

"Yakin Byoutou"
Tribute Book

Presented by

HIGH-RISED
FOSSIL GARDEN

Naiki Hodzmi 2001

18

For ADULT ONLY